

# (2021年度) グリーンファイナンスモデル事例創出事業

- 株式会社滋賀銀行のポジティブインパクトファイナンスをモデル性を有するインパクト・ファイナンス（インパクト包括型）として選定

## インパクト・ファイナンス概要

金融機関：株式会社滋賀銀行  
 融資先：たねやグループ（菓子製造・販売）  
 金額：5億円 期間：5年 資金使途：運転資金  
 インパクト領域

- ① 自然と共生するお菓子づくり（PI増大、NI抑制）
- ② 地域とつながる商い（PI増大）
- ③ 多様な人材の活躍（PI増大）
- ④ バリューチェーンにおける環境への配慮（NI抑制）  
 （PI=ポジティブインパクト NI=ネガティブインパクト）



「自然を学ぶ」をテーマにしたたねやグループのフラッグシップ店「ラコリーナ 近江八幡」

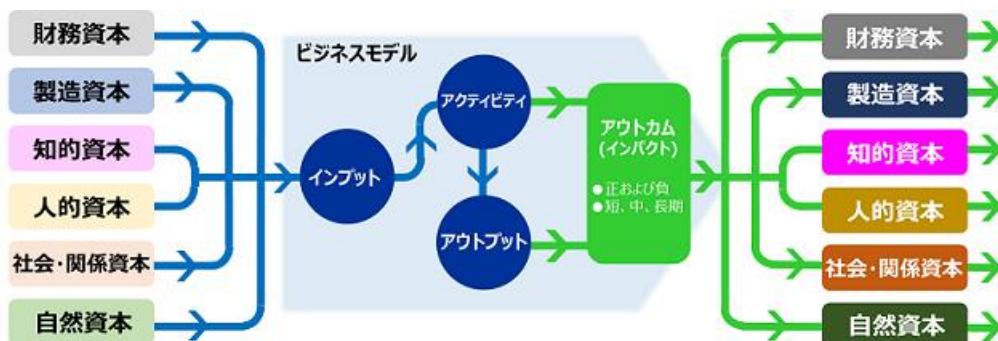
国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」（PIF原則）に準拠

**原則1（定義）**：インパクト分析の手法はPIF原則に背景にある全体を捉えるアプローチ（holistic approach）と統合的で、PIFの定義に合った業務内容となっている。

**原則2（枠組み）**：インパクトの特定はUNEP FIのインパクトレーダーを活用するなど国際的な見方との整合性をとる。SDGダッシュボードなどのツールを活用してインパクトニーズを的確に把握。ポジティブインパクトの狙いを明確にしてインパクトの実現度合いをモニタリングする。専属の担当者を配置しインパクトファイナンスの知見の蓄積を進めている。

**原則3（透明性）**：インパクトファイナンスの評価書を融資先に提供するとともに、融資先が合意できる範囲において評価書の内容を公表する。第三者がインパクトファイナンスの体制と業務プロセスの概要を独立した評価の結果と共に公表する。モニタリングする測定値やインパクトの検証について、できる限り開示を求めている。

**原則4（評価）**：インパクト（アウトカム）につながる企業のアクティビティやアウトプットを確認して適切なKPIを設定する。既に発現しているインパクトだけではなく、これから生み出されるインパクトの評価に努める。KPIの実績は少なくとも年に1回確認する。インパクト実現に向けた対応策等に関するエンゲージメントを行う体制をとる



滋賀銀行がインパクト分析に用いる統合思考に基づくロジックモデル

## (2021年度) グリーンファイナンスモデル事例創出事業

- **株式会社滋賀銀行のポジティブインパクトファイナンスをモデル性を有するインパクト・ファイナンス（インパクト包括型）として選定**

### <モデル性>

- ① **地域金融機関が地場企業との継続的な取引を通じて経営課題と地域課題を詳細に把握し、企業との対話によって通じてインパクトを特定し目標とKPIを設定している。**企業がポジティブな影響を生み出すのは社会面・経済面に多く見られ、**環境面では自社のCO2排出量や廃棄物の削減などの取り組みがネガティブな影響の緩和に位置付けられる中**で、金融機関と企業が**食品業界のサプライチェーンを農業まで遡り環境問題について対話してポジティブインパクトの創出に取り組む**事例を提示している。地場企業による伝統・文化の継承、地域環境の保全などの**地域に密着した活動を日常的に支えていくところが地域金融機関ならではの取り組み**であり、**地域課題の解決への貢献が期待される。**地元有力企業のインパクトビジネスを支援することはその**地域の生産者・消費者のサステナビリティに対する意識に好影響**を与えることが期待され、**他の地域の有力企業に対するインパクトファイナンスの普及にもつながる。**
- ② **インパクト特定の大きな枠組みには、企業の内部だけでなく外部のステークホルダーや社会全体の価値創造を統合的に説明する「国際統合報告フレームワーク」の考え方を採用し、UNEP FIのインパクトレーダーのデータとの整合性を確認するなどグローバルな環境・社会問題の視点や分析手法を取り入れている。**インパクトニーズに関しては滋賀県内のニーズの把握、滋賀銀行の重点課題との照合など**ローカルな視点も加えてインパクトの意図の明確化**に努めている。KPIはインパクトの実現度合いを測るため、**企業と距離が近いことを生かしたエンゲージメントを実施することにより指標を改良していくことが期待される。**
- ③ **地域金融機関のインパクトファイナンスは、中堅・中小企業による社会の持続可能性へのさらなる貢献を支援できる手法**である。これを実施するためには環境・社会問題に対する広範な知見と事業の成長性を見る力の両方が必要で、**まだまだ担い手は少ない。**このような中で**インパクトファイナンスを経営方針に位置付け、人員を投入して国際的な枠組みを地域金融に適用する事例は他の金融機関の取り組みの参考**になる。